

淑女検定

美文字

☑ チャレンジテーマ

「書は人なり」と言うけれど、美しい文字を操る人は、所作や暮らしぶりまで美しく見えてくるもの。大人の女性なら“かわいい字”ではなく、“美しい字”がすらすらと書けるようにしておきたい。

SBS学苑
パルシェ校

今月の
先生



【実用ペン字・実践筆ペン】講師

三浦 久子 みうら ひさこ

(日本書道教育協会総合師範)

ちょっとした工夫であなたも文字美人! ボールペンから筆ペンまで丁寧に指導。

SBS学苑パルシェ校
INFORMATION

4/26(水)18:30~20:30

俳句をつくりましょう
~桜を詠む~

受講料/2,000円

講師/渡井恵子(俳人協会会員)

ちょっとしたコツを覚えて俳句を楽しみましょう。

【お問い合わせ・お申し込み】
Tel.054-253-1221

問題

1

美文字のコツの一つは書き順を守ること。「必」の漢字の「ノ」は何画目?



- A. 1画目 B. 2画目 C. 3画目 D. 4画目 E. 5画目



問題

2

美文字の達人、三浦先生が練習用におすすめする漢字はどれ?

- A. 合 B. 井 C. 右 D. 永 E. 央



問題

3

美しい平仮名は文字の成り立ちを意識して書くことがポイント。次のうち間違っているのはどれ?

- A. 永→え B. 遠→を
C. 美→み D. 女→め



正解 & 解説

問題 1

→ 正解 B

正解は2画目。「必」の字は書き順を間違っている人が多いという。バランスを取るのが難しい漢字だが、順序を守って書けば流れのある文字に仕上がります。右下に向かってはねる中心は3画目。住所によく登場する「区」も書き順を誤解して、うまく書けない人が多いという。一番上の「一」が1画目、「メ」の部分は2~3画目となる。どれも小学校3~4年生で習う漢字だが、どきとした人も多いのでは。

問題 2

→ 正解 D

「永」は漢字の基本である〈とめ、はね、はらい〉が含まれている。この3要素をきっちり見せるだけで印象は大きく変わる。「永字八法」という言葉があるほど、この字には書道に必要な8種類の技法が含まれている。美文字を使って文章全体を美しく仕上げるにはバランスが大事。①書くものを正面に持ってくる②中心をそろえる③漢字は大きめ、平仮名は小さめ④字と字の間をそろえる⑤行間は一文字分空ける—などのコツがある。

問題 3

→ 正解 A

「え」の元になった漢字は「衣」。平仮名にはそれぞれに成り立ちがあり、それらを意識して書くことで流れるような美しい文字に仕上がります。たとえば「は」は「波」から、「ほ」は「保」から。似たような平仮名だが成り立ちが全く違うので、最後の結びの形が違って来る。「は」は「ほ」より丸みを帯びた結びにする、といった具合だ。「文字が美しいと理知的に見えます。ラブレターはぜひ手書きで」と三浦先生。